

環境教育「まず、今できることから」

歴史に学ぶ

発行所：地域環境活性化協議会
編集者：代表幹事 高橋賢一
連絡先：市民活動支援センター
尾張旭市渋川町三丁目5番地7
(渋川福祉センター内)
TEL 0561-51-2878

川南保育園 けん玉修了式

平成二十七年三月九日

けん玉の壁の厚さを

みんな協力して破った。

これが今日の結果です。

先生の努力と子供達の挑戦がこの通りです。フラスマンもけん玉が繋がっていき、遊ぶピンポンも涙で終了した子どもでも今の世の中では必要なのです。また子供達は新しい挑戦がはじまる。少しでもけん玉道場で学んだことを糧



2015/03/09



2015/03/09

にして次の挑戦の壁を破る欲しい。
人はすべて自分より戦いやすいこと、苦しいこと、これから一杯あります。
その時に「けん玉道場を思い出して下さい」
「波騒がせの常盤です」
波にまかせて雑魚は歌い雑魚はおどる
けれど誰れが知ろう
百天下の水の心を
水の深さを。」

めだかの学校

本木海作詞

めだかの学校は川の中
そこのぞりて見てらん
そこのぞりて見てらん
みんなでお遊戯してしまふ
めだかの学校のめだかたち
だれが生徒か、先生か
だれが生徒か、先生か、
みんなで元気に遊んでる
昭和26年3月NHK幼児の時間で
発表され録音されたおぼろに歌われ
たこの詞のような美しい川の流れば
都会化が極端に進み公害が広がった
近頃の天都の近辺では殆ど見られ
なくなりました残念である。
今は水の汚れを絶滅させたい。

春の川はさくらさくら
行くよ
さしののみれやれやれ
花は
すかたやさしく色さ
くしく
さいているねとささや
き、なかり
この詞の舞臺に佇んだ清流
は東京のいと真ん中、
今の岸宿からはず木公園
さらに波谷へと広がる平地
を流れる守田川の支流の
河津川といわれている
東京オリピックを機に川はフ
タもこれて下水道の節は
なりました。



2015/03/09



2015/03/09